

## 病虫害発生予察注意報第2号

令和2年7月8日  
三重県病虫害防除所

1. 対象作物 : 水稻
2. 対象病虫害名 : 斑点米カメムシ類(ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類)
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 7月上旬～9月中旬
5. 予想発生量 : 多
6. 注意報発令の根拠
  - 1) 農業研究所予察灯(4月第1半旬～6月第4半旬、松阪市嬉野川北町)では、ミナミアオカメムシの誘殺数は77頭(過去10年平均29.2頭)と、多い状況です。
  - 2) 一般ほ場では、出穂前の水田内でミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシ類の発生が確認されています。
  - 3) 水稻生育予測システム(4月24日移植コシヒカリ。7月3日現在)によると出穂期は7月16日と平年より5日早い予想です。
  - 4) 1か月予報(7月2日・名古屋地方気象台発表)によると、気温は平年を上回り、7月11～17日は平年に比べ曇りや雨の日が少ない予想です。また、18日以降は平年と同様に晴れの日が多いことから、斑点米カメムシ類の活動に好適です。
7. 防除上の注意事項
  - 1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
  - 2) 水田内での増殖を防ぐため、防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7～10日後に追加防除を実施してください。
  - 3) 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
  - 4) 出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！